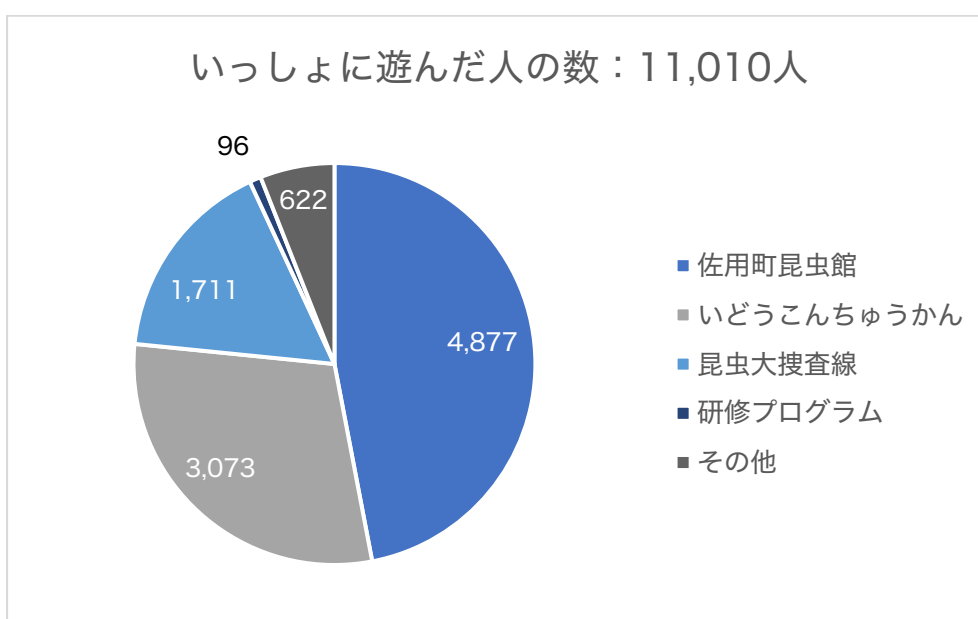


NPO 法人こどもとむしの会

令和 5 年度（2023 年度）事業報告書



前年（2022 年度）は 8,543 人でした。

A 子どもと虫に関連する普及啓発事業

昆虫館や博物館に出かけるチャンスのない子どもたちのもとに「ほんものたいけん」を届ける「いどうこんちゅうかん」や公園等で虫とりを楽しむ「昆虫大捜査線」など、多くの事業を引き続き実施した。

A-1 いどうこんちゅうかん

虫に触れる体験をねらいとし、主に室内で実施するプログラム。対象は、昆虫大捜査線より低年齢児を想定。

実施日	イベント名	会場	参加者数	スタッフ数
5月16日(火)	しぜんたいけん(幼稚園・保育園訪問)※	佐用町立南光保育園・三日月保育園	42	3
5月18日(木)	しぜんたいけん(幼稚園・保育園訪問)※	佐用町立利神保育園・佐用保育園	78	5
5月19日(金)	しぜんたいけん(幼稚園・保育園訪問)※	佐用マリア幼稚園・保育園	61	5
5月25日(木)	さとやま むしむしかんさつ かい(幼稚園)	ルネサンス棚倉	88	6
6月4日(日)	いどうこんちゅうかん	南光文化センター	165	25
7月15日(土) ～17日(月祝)	いどうこんちゅうかん	播磨中央公園	354	24
7月22日(土)	いどうこんちゅうかん(南 光ひまわり祭り)	南光スポーツ公園	400	6
7月30日(日)	いどうこんちゅうかん	岩手県立児童館いわて子どもの森	367	4
7月31日(月)	むしのおえかき	神戸市立神出児童館	31	5
8月4日(金)・ 5日(土)	いどうこんちゅうかん	八田コミュニティセンター(おもしろ昆虫化石館)	125	20
8月11日(金) ～13日(日)	いどうこんちゅうかん	志方児童館	402	20
8月18日(金) ～20日(日)	いどうこんちゅうかん	洲本中央公民館	340	25
8月27日(日)	いどうこんちゅうかん	兵庫県立こどもの館	117	8
9月8日(金)	いどうこんちゅうかん	山本南保育園	65	5
9月16日(土) ～18日(月祝)	いどうこんちゅうかん	丹波の森公苑	361	27
11月8日(水)	いどうこんちゅうかん	一宮子育て学習センター	77	5
		合計	3073	193
		(2022年度)	1396	119

※ C-1 佐用町昆虫館の管理運営の項で詳述。



左：いどうこんちゅうかん（加古川市立志方児童館） 右：いどうこんちゅうかん（一宮子育て学習センター）

A-2 昆虫大捜査線等

野外で自ら虫をつかまえる体験をねらいとしたプログラム。

実施日	イベント名	会場	参加者数	スタッフ数
5月13日（土）	昆虫大捜査線	淡路島公園	177	9
5月25日（木）	さとやま むしむしかんさつかい（小学生）	ルネサンス棚倉	37	3
6月10日（土）	昆虫大捜査線	播磨中央公園	199	6
6月17日（土）	石の寝屋昆虫調査隊	あわじ石の寝屋緑地	43	10
7月1日（土）	むしとり合宿	但馬牧場公園	22	4
7月8日（土）	昆虫大捜査線	ハチ高原交流促進センター	64	13
7月22日（土）	さとやま 親子昆虫採集	ルネサンス棚倉	20	3
7月22日（土）	さとやま 水の生き物調査	ルネサンス棚倉	12	3
7月28日（金）	昆虫大捜査線	青森県立三沢航空科学館	92	4
7月29日（土）	昆虫大捜査線	岩手県立児童館いわて子どもの森	113	4
8月6日（日）	昆虫大捜査線（但馬牧場公園）	但馬牧場公園	101	8
9月30日（土）	むしとり秋の陣 in テクノ	兵庫県西播磨総合庁舎	87	9
10月1日（日）	慶野松原虫とり物語	慶野松原	168	6
10月7日（土）	たんばユース躍動プロジェクト	丹波の森公苑	5	3
10月14日（土）	さとやま おやこむしとり	ルネサンス棚倉	12	3
10月14日（土）	さとやま 秋のむし教室	ルネサンス棚倉	24	3
10月21日（土）	昆虫大捜査線	赤穂海浜公園	107	6
1月6日（土）	むし初め 2024	明石公園	113	16
2月23日（金）	ふゆムシ	あいな里山公園	44	5
4月13日（土）	昆虫大捜査線	赤穂海浜公園	129	8
4月27日（土）	昆虫大捜査線	淡路島公園	142	9
		合計	1711	135
		(2022 年度)	1757	106



左：石の寝屋緑地昆虫調査隊（あわじ石の寝屋緑地） 右：むしとり秋の陣（兵庫県西播磨県民局庁舎）

A-3 研修プログラム

スタッフや調査員の育成につながることをねらいとしたプログラム。

実施日	イベント名・	会場	参加者数	スタッフ数
5月21日（日）・28日（日）	昆虫調査員になろう！ はじめての標本づくり	国見の森公園	18	10
7月15日（土）・8月26日（土）・9月16日（土）から18日（月祝）の間の半日（選択）	めざせ！！昆虫リーダー	丹波の森公苑	78	15
		合計	96	25
		（2022 年度）	89	12

※ B-3 昆虫調査員研修会の項で詳述。

A-4 その他のプログラム

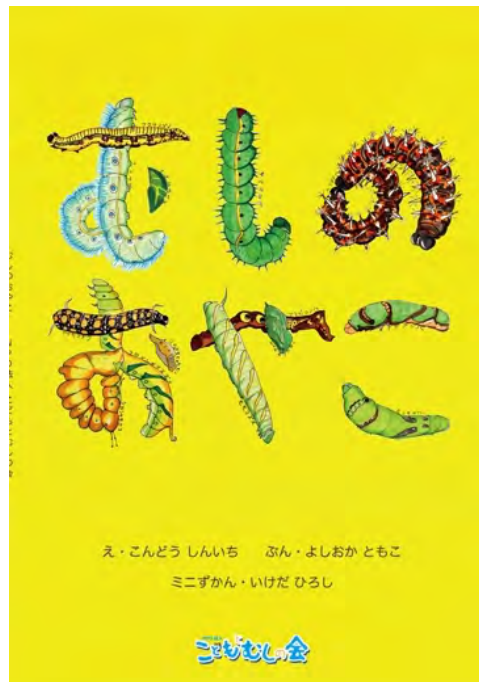
実施日	イベント名・	会場	参加者数	スタッフ数
7月20日（木）～8月20日（日）	おもしろ昆虫展（協力事業）	八田コミュニティセンター（おもしろ昆虫化石館）	622	2



左：昆虫調査員になろう（国見の森公園） 右：おもしろ昆虫展会場（八田コミュニティセンター）

A-5 絵本制作

絵本「むしのおやこ」を 350 部制作した。B5 判フルカラー48pp、中綴じ製本。



絵：近藤 伸一、文：吉岡 朋子、編集：池田 大

B 地域の自然環境とまちづくりに関連する調査研究事業

B-1 雑誌「きべりはむし」の編集発行

2023 年度に発行した雑誌『きべりはむし』はつぎのとおり。

きべりはむし 第 46 巻 第 1 号

- ・ 2023 年 6 月 25 日発行
- ・ 頁数 43、報文 7 編、短報 7 編、書評 1 編。

きべりはむし 第 46 巻 第 2 号

- ・ 2023 年 12 月 25 日発行
- ・ 頁数 65、報文 11 編、短報 13 編、書評 2 編。

編集委員

編集委員長 池田 大

編集委員 阪上洸多・末宗安之・中峰 空・森 正人・安岡拓郎

B-2 参加型調査

参加型調査「むしみつけ」（みんなも、昆虫調査員！ このむし、みつけたら、おしえてね）を、対象種を絞って引き続き実施した。

立春から昆虫館開館日の間の虫の初見を記録する「初蝶リレー」も、引き続き実施した。

B-3 チョウ類の保全活動

ニホンジカの食害による植生破壊の影響で減少しているチョウ類の生息地を復元・創出するとともに、子どもたちが安全かつ自由に虫とりのできる空間を確保するため、「シカ柵」の設置や維持管理を行った。

佐用町昆虫館

2023 年冬季に昆虫館付近の町有地「むしむしひろば」に設置したシカ柵のメンテナンスを行った。C-1 佐用町昆虫館管理運営の項で詳述

ハチ高原

「兵庫ウスイロヒョウモンモドキを守る会」がハチ高原高丸山に設置しているシカ柵の維持管理に資するため、「昆虫大捜査線」を同会と共催で開催し、関心者の確保を開始する。また、同会が行う域外保全（生息地以外での累代飼育）に関し、佐用町昆虫館が協力する。

シカ柵補修作業へは、5 月 21 日（日）に 3 名、10 月 7 日（土）に 2 名、10 月 28 日（土）7 名が参加した。



ハチ高原でのシカ柵補修作業（5 月）

C 昆虫館等の運営支援事業

C-1 佐用町昆虫館の管理運営

引き続き、指定管理者として、佐用町昆虫館の管理運営を行った。2023 年度（2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日）の状況は以下のとおりであった。

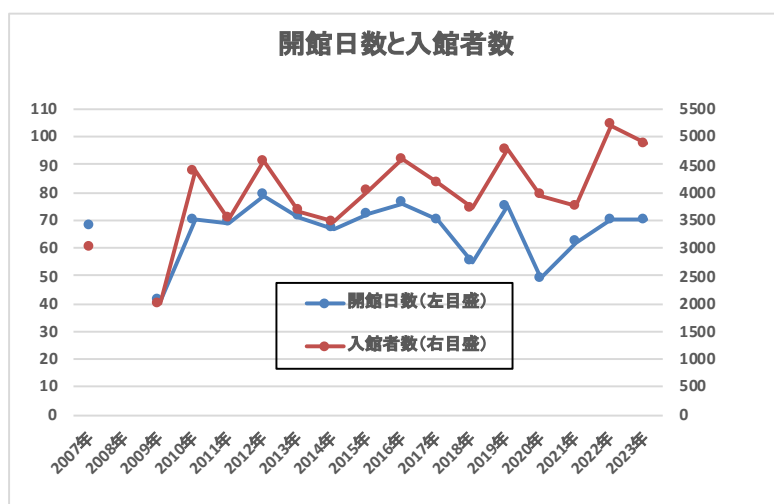
入館者の状況

新型コロナウイルス感染症や台風による臨時休館はなく、開館日数は 70 日、開館時の入館者数は 4,875 人。過去最多であった前年の 5,211 人から漸減となった。南光ひまわり祭りが再開されたためアウトリーチでの対応人数が増え、総利用者数は 5,623 人（前年は 5,646 人）であった。開館日の平均入館者は 69.6 人。前年の 74.4 人から漸減となった。

人と自然の博物館が行う「ひょうごエコロコプロジェクト」との協働により、5 月に町内すべての幼稚園保育園（6 園）を訪問し、虫に親しむ「しぜんたいけん」プログラムを実施し、6 月にはさよう文化情報センターにおいて「いどうこんちゅうかん」を実施した。

佐用町昆虫館 2023 年度の利用者数（昆虫館の事業年度にならい 2023 年 4 月からの集計）

月	開館日			休館時利用				講座等			アウトリーチ				計		総計
	日数	人数		日数	人数		件数	人数			件数	人数					
		来館者	スタッフ		来館者	スタッフ		参加者	スタッフ			参加者	スタッフ	一般	スタッフ		
4	10	302	43											302	43		345
5	12	735	43	1	2	1					6	181	13	918	57		975
6	8	407	29								1	165	24	572	53		625
7	11	1157	39								1	400	6	1557	45		1602
8	9	1114	35											1114	35		1149
9	10	649	40											649	40		689
10	10	511	46											511	46		557
11														0	0		0
12														0	0		0
1														0	0		0
2														0	0		0
3														0	0		0
総計	70	4875	275	1	2	1	0	0	0	0	8	746	43	5623	319		5942



佐用町昆虫館の開館日数と開館日の入館者数の推移

2007 年（平成 19 年）は、旧兵庫県昆虫館での 4～10 月、土・日・祝日の数値。入館者数は、2020 年 7 月 19 日（日）までは旧兵庫県昆虫館以来の館入口における任意記帳者の人数。予約制を導入した 2020 年 7 月 23 日（木・祝）からは入館者の実数。

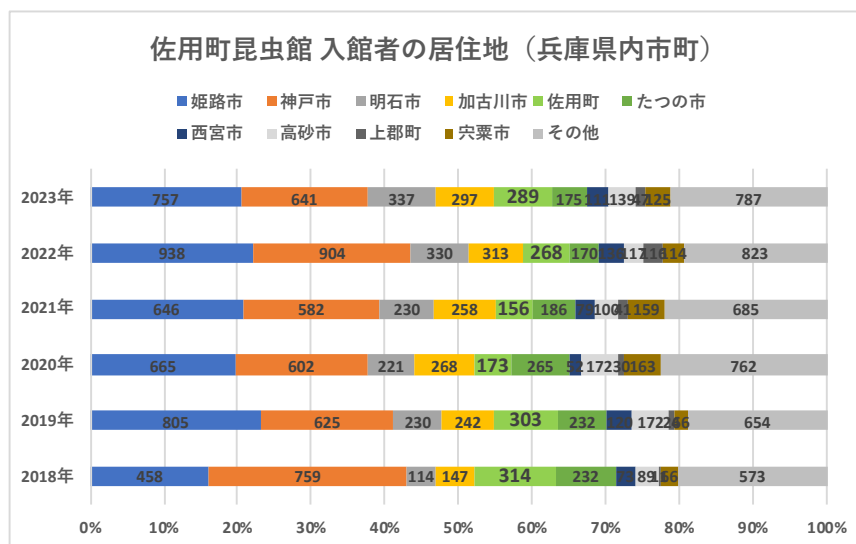
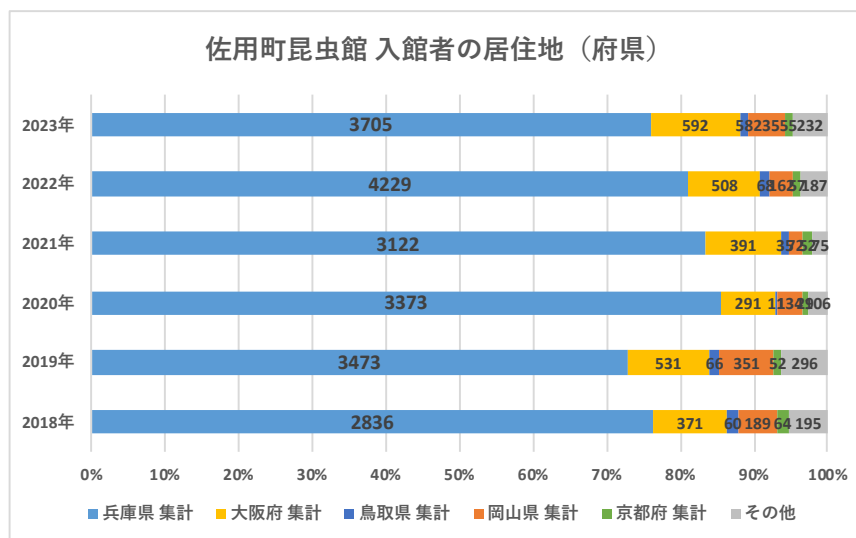
予約制の継続

新型コロナウイルス感染症は収束したが、引き続き利用時間を3部に分けて定員を設け、事前予約推奨とした。各時間帯の定員は25名から40名とした。予約システムは、リクルート社の「Air リザーブ」を用いた。

佐用町住民の利用は回復

利用者のうち兵庫県在住者の割合は76.0%で、前年の81.2%からさらに低下。県外利用者の割合が増え、コロナ前の傾向に近づきつつあるといえる。佐用町民の利用は289人（7.8%、第5位）で前年に続いて増加し、以前の水準までもう少しとなった（下図）。南光文化センターで開催した「いどうこんちゅうかん」と、幼稚園・保育園への訪問が効果をもたらしたと思われる。

しかし、2019年は303人（8.7%）、2018年は314人（11.1%）であったから、まだ以前の利用に比べるとやや低調となっている。予約制の運用を緩和するなどの対策を検討する余地がある。



佐用町昆虫館利用者の居住地（最近5年間）

幼稚園・保育園への訪問

人と自然の博物館が行う「ひょうごエコロコプロジェクト」との協働により、下表により5月に市内すべての幼稚園・保育園（6園）を訪問し、虫に親しむ「しぜんたいけん」プログラムを実施した。

訪問日	園名	園児数	スタッフ数
5月16日午前	南光保育園	25	3
5月16日午後	三日月保育園	17	3
5月18日午前	利神保育園	24	5
5月18日午後	佐用保育園	54	4
5月19日午前	マリア幼稚園	19	5
5月19日午後	上月保育園	42	4



左：利神保育園、右：上月保育園

いどうこんちゅうかん（南光文化センター）

6月4日（日）、南光文化センターにて、開催した。対象は、町内在住の子どもとし、町内全小学校、幼稚園・保育園にチラシを配布した。1時間ごとに3回の枠を設けて予約制で実施した。参加者は、子ども92名、大人73名、合計165名であった。2022年（さよう文化情報センター）よりやや少なくなったが、実施枠を4から3に減じたためと思われる。また、あらたに「スタッフたいけん」として、小学4年生以上を募集したところ、2名がエントリーし、スタッフとして終日活躍した。



いどうこんちゅうかんのチラシ（A5判）

いどうこんちゅうかん 参加者の年齢層

	年齢層	2022 年	2023 年
子ども	小学生	62	50
	幼児	50	32
	未就園	2	10
	不明	5	0
	合計	119	92
大人	合計	75	73
総計		194	165



いどうこんちゅうかん 会場のようす (2023 年 6 月 4 日 南光文化センター)

いどうこんちゅうかん (「南光ひまわり祭り」への出展)

新型コロナウイルス感染症のため中断されていた「南光ひまわり祭り」が 4 年ぶりに再開され、期間中の 7 月 22 日 (土) 午前 9 時から 14 時まで、南光スポーツ公園の屋外ブースへ出展した。内容は、カブトムシ、クワガタムシ、タガメ等、昆虫館で展示している生物で、アトラクションとして以前から人気の「イモリすくい」を実施した。

ひまわり祭り会場全体の入場者は約 4,500 人 (主催者発表)、昆虫館ブースの見学者は約 1,000 人、利用統計へは「イモリすくい」のポイの消費量 400 人を計上した。



南光ひまわり祭り 会場のようす (2023 年 7 月 22 日 南光スポーツ公園)

「むしむしひろば」の環境整備 (シカ柵の設置)

昆虫館では、瑠璃寺仁王門東側の町有地周辺を「むしむしひろば」と称し、来館者の虫とり体験の場として推奨し

ているが、近年のシカの増加と、それに伴う植生の衰退による昆虫の減少、マダニやヤマビルが増加により、フィールドワークの場としての魅力が減じている。そこで、2023 年 2 月から一部にシカ柵を設置し、多様な昆虫が生息し子どもたちが安全に虫とりを楽しめる空間として整備することとした。

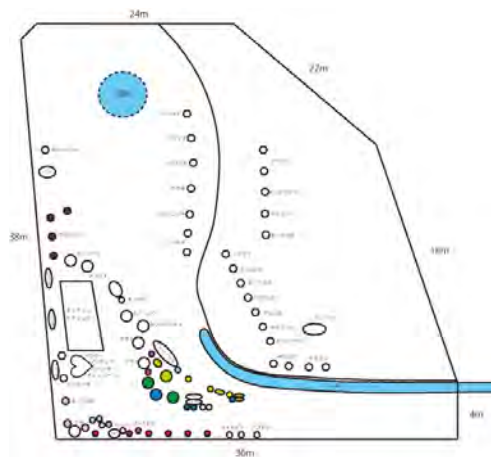
2023 年度は柵を延長し、面積は約 1000 平米、シカ柵の延長約 140m となった。また、ユンボを用いて柵内のササの根の除去や排水路の整備等を行った。

柵の延長にあたっては、計画段階から地元船越自治会に相談し、了承と助言を得ながら実施することとした。11 月 19 日に、船越自治会長の松井寿登司氏に電話にて説明した上で 12 月 2 日に計画書類を自治会長宅に届け、1 月 15 日に、地元としては問題なく、進めていただいてかまわない、との了承を得た。整備予定地付近にシカ捕獲檻が設置されているが、松井自治会長を通して設置者からも問題ないとの了解を得た。なお、運用にあたって、町有地および周辺についての草刈りを行うよう要望があった。これについては可能な範囲で指定管理者が行うこととする。

概ね 5 日間で、基本的な作業を完了した。また、会員で協議の上、当地の名称を「ハッピーガーデン」とした。今後は、植物の生育状況をモニタリングしながら、随時改善を行なっていく。

作業等の経過は、つぎのとおり。

11 月 25 日 (土)	ユンボによる耕起とササの根の除去 参加者：20 名・家族
2 月 3 日 (土)	柵の延長作業 参加者：8 名
2 月 11 日 (日)	柵の延長作業とユンボによる耕起 参加者：7 名
2 月 24 日 (土)	植栽作業 参加者：11 名
3 月 10 日 (日)	ユンボによる排水路の整備 参加者：3 名
3 月 17 日 (日)	名称を「ハッピーガーデン」に決定



左：シカ柵の設置位置、右：シカ柵の寸法と植栽計画



左：2 月 3 日（柵延長作業）、右：2 月 11 日（ユンボによる耕起）

昆虫館敷地内の立木の伐採

昆虫館では、2018 年 2 月 16 日に大掛かりな立木の伐採を行ったが、以後 5 年が経過して樹木が生長し、建物の屋根への影響や光ファイバーケーブルとの接触が懸念されてきた。そこで、来館者の安全確保、建物等施設の損壊防止・昆虫類の生息環境改善を目的として、立木の伐採を行うこととした。

伐採は佐用町森林組合に委託して行った。2023 年 11 月 20 日に会員の近藤伸一が佐用町森林組合と現地打ち合わせをし、12 月 7 日付で町へ書面協議を行い、町の下承のもと 2024 年 1 月 12 日に伐採作業を完了した。



左：伐採前（11 月 20 日撮影）、右：伐採後（1 月 15 日撮影）

D 管理運営

会員の状況（2024年4月30日現在）

正会員 45 名（2023 年度会費納入者数）、むしむしサポーター42 名、きべりはむし会員 24 名、メール会員 615 名。

総会・理事会

総会

通常総会：2023 年（令和 5 年）6 月 4 日（日）、南光文化センター（兵庫県佐用郡佐用町下徳久）で開催した。

理事：池田 大（新任）・金子留美子（再任）・齋藤泰彦（再任）・島岡良治（新任）・末宗安之（再任）・高橋弘樹（新任）・三村寛子（新任）・八田康弘（再任）・松岡弘幸（再任）・茂見節子（再任）・八木 剛（再任）・安岡拓郎（再任）

監事：森 正人（再任）

理事会

第 1 回理事会を 2023 年（令和 5 年）5 月 21 日（土）電子メールによる持ち回り開催した。総会議案と事務局の組織について審議した。事務局の組織として、つぎのとおりとなった。

きべりはむし編集委員会

編集委員長：池田 大

編集委員：阪上洸多・末宗安之・中峰 空・森 正人（新任）・安岡拓郎（退任：近藤伸一）

法人事務局

事務局長：八木 剛

事務局員：伊藤むつみ・島岡佳子（新任）

第 2 回理事会を 2023 年（令和 5 年）7 月 2 日（日）常時双方向通信が可能なオンラインミーティングにより開催した。理事長及び副理事長の選定と、理事の事務分掌の決定を行った。

理事長 八田康弘

副理事長 末宗安之・松岡弘幸・齋藤泰彦

理事の担当事務事業を下記の通り決定した。

子どもと虫に関連する普及啓発事業 担当理事・・・松岡弘幸、三村寛子

地域の自然環境とまちづくりに関連する調査研究事業 担当理事・・・池田大、安岡拓郎

昆虫館等の運営支援事業 担当理事・・・齋藤泰彦・島岡良治・末宗安之・高橋弘樹・茂見節子

一般管理事務 担当理事・・・八木 剛

その他、2023 年 11 月 11 日（土）と 11 月 25 日（土）に佐用町昆虫館で、同 12 月 23 日（土）にオンラインで会員ミーティングを行い、事業の執行状況や次年度事業計画に関する意見交換を行った。